

1. 科目名 (単位数)	人体の構造と機能及び疾病 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1112
2. 授業担当教員	先崎 章		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質 (QOL) を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 2. 健康・疾病の捉え方について理解する。 3. 人の身体構造と心身機能について理解する。 4. 疾病や障害の成り立ちおよび回復過程について理解する。 5. 公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	新聞等のマスメディアに出てきた疾患に関するニュースの中からグループで興味を持ったものをひとつ選び、福祉、養護、保健、保育、心理などのそれぞれの立場から、支援をどう構築すればよいか検討を加える (発表およびレポートの予定)。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身の機能と身体構造を自分の体と日常生活に照らし合わせてできるようになったか。 2. 生活習慣病の理解と予防を考察できるようになったか。 3. 少子高齢社会におけるリハビリテーションを理解し、必要性を説明できるようになったか。 4. 厚労省が推進する高齢者の QOL の基本的な考えを理解できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度や学習状況、レポート、期末テスト等を総合して評価する。授業への参加度 30%、レポート 30%、期末テスト 20%、発表能力 20%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>少子高齢社会において、養護、保健、福祉専門職者は無論のこと、また教育、保育や臨床心理専門職者においても、保健・医療専門職者等と連携して地域社会の人々が健康で質の高い豊かな生活を送れるように支援することが求められます。そのためには、健康をむしばみ、生活の質を低下させる病気、特に生活習慣病・メタボリックシンドローム、高齢者特有の疾患及び精神疾患などの知識を自ら学び取る必要があります。メディアが報じるニュースの中でも日常的に取り上げられているので、将来の専門職者の立場からの問題を自ら発見し、自ら解決する目で見ようにしましょう。</p> <p>現場にあつては、ヘルスケアプロフェッショナルチームの一員としての能力を開発する練習を授業でのグループディスカッション及びレポート作成・発表を通して出来る様にしましょう。又、ターミナルケアや健康寿命と介護予防の問題にも目を向けられるようになります。</p>		
13. オフィスアワー	木曜日 (授業、会議のない時間帯)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 人の身体と精神の成長・発達及び老化	事前学習	シラバスを熟読してくる。
		事後学習	教科書の人の身体と精神の成長・発達を身体と精神に分けてノートにまとめる。
第 2 回	人体部位の名称と各臓器の構造及び機能	事前学習	人体部位と骨、臓器の名称をノートに記載しておく。
		事後学習	心臓、腎臓、呼吸器、大脳をノートに図示し、それぞれの機能を 5 行以内で記載する。
第 3 回	疾病の概要 脳血管循環器系統	事前学習	教科書の生活習慣病とその予防をノートにまとめておく。
		事後学習	教科書の悪性腫瘍、脳血管障害、心疾患、高血圧について、各 5 行でまとめ発表出来る様にしておく
第 4 回	内分泌系、呼吸器系統	事前学習	内分泌とは？ノートに調べておく。
		事後学習	糖尿病と慢性閉塞性肺疾患との類似点について 400 字程度にまとめてみる。
第 5 回	消化器系統、腎・尿路系統	事前学習	逆流性食道炎、肝硬変、膠原病を教科書で調べて、ノートに記載しておく。
		事後学習	教科書の腎不全、排尿障害、尿路感染症、前

			立腺障害の要点をノートに各 5 行でまとめる。
第 6 回	骨、関節及び感覚器の疾患系統	事前学習	骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折について調べノートに記載しておく。
		事後学習	関節リウマチと変形性膝関節症の違いを、関節のイラストを加えて 400 字程度にまとめてみる。
第 7 回	感染症、神経疾患と難病	事前学習	感染症のうち、特に結核について、歴史的な発症経過を踏まえて調べてくる。
		事後学習	教科書の介護保険の特定疾病について、難病との関係についても言及して、まとめてみる。
第 8 回	先天性疾患、高齢者に多い疾患	事前学習	教科書の先天性疾患を一つノートにまとめておく。
		事後学習	高齢者に多い疾患の特徴を発表できる
第 9 回	障害概要 1. 視覚・聴覚・平衡機能障害、肢体不自由障害 2. 内部・知的・発達障害	事前学習	障害と疾病の違いはなにか？ ノートに要点を書いておく。
		事後学習	知的障害と発達障害について、各 400 字程度にまとめてみる。
第 10 回	認知症、高次機能障害、精神障害	事前学習	認知症の人にあったことはありますか？認知症、そして高次脳機能障害の症状をノートにまとめておく。
		事後学習	教科書を読み、認知症、高次脳機能障害、精神障害について各 5 行以内にまとめておく。
第 11 回	リハビリテーションとは、対象の疾病と障害、担当専門職種	事前学習	リハビリテーションの対象となる疾病や障害をロールプレイで演じることが出来る様にしておく。
		事後学習	リハビリテーションにおける専門職やチームアプローチをノートにまとめてみる。
第 12 回	国際生活機能分類の考え方；環境因子と個人因子、健康とは？ 日本人の健康、職業との関係	事前学習	教科書の国際生活機能分類の考え方をノートにまとめておく。
		事後学習	あなたにとっての健康の概念を 400 字にまとめてみる。
第 13 回	課題調査の発表会	事前学習	グループメンバーで発表準備を行う。資料の精査及び発表手順の確認。
		事後学習	各グループの発表についての評価を 400 字にまとめる。
第 14 回	課題調査の発表会	事前学習	グループメンバーで発表準備を行う。資料の精査及び発表手順の確認。
		事後学習	各グループの発表についての評価を 400 字にまとめる。
第 15 回	総合まとめ	事前学習	学習用ノート・レジメを振り返り、これまでの学びと考察を振り返る。
		事後学習	学習用ノート・レジメを振り返る。